

NOR-SHIPPING 2022 国際海事展参加事業の実施経過について

令和 4 年 4 月 15 日
日本船舶輸出組合

本組合は、本年 4 月 4 日から 7 日までノルウェー・オスロにて開催された首題海事展に日本財団の支援を受けて、デジタル出展した。

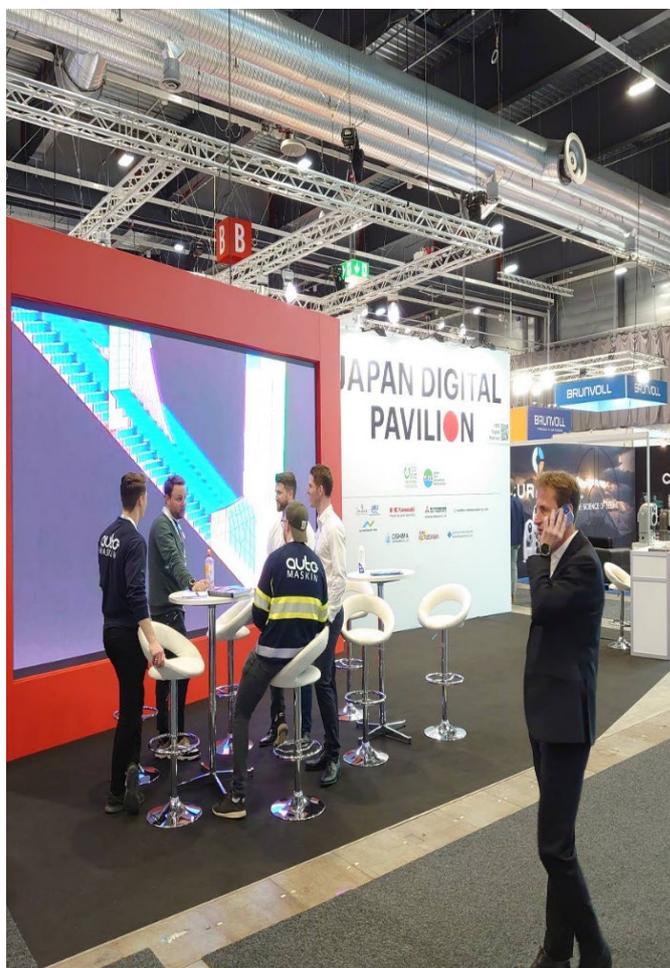
展示会場において、B ホールの B02-14 の区画 (50 m²) に Japan Digital Pavilion を設置し、大型スクリーンと各社のロゴ等を記載したパネルを配置し、オンライン発表プログラム「日本の挑戦」により、日本財団、日本海事協会及び出展造船各社が作成した動画をパブリックビューイング方式で公開した。初めての試みでもあったが、興味を持った来場者が多く足を止めて視聴した。

今回で 28 回目を迎えた同海事展は、当初 2021 年 6 月に開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2022 年 1 月に延期され、さらに 4 月に再延期となり、前回 2019 年 6 月の開催から約 3 年ぶりの開催となった。

出展会社及び入場者数は、34 ヶ国から 596 社の参加があり、入場者数は 20,015 名 (いずれも展示会事務局発表) となった。そのうち、オンライン出展となった日本をはじめ、ノルウェー、フィンランド、デンマーク、英国、オランダ、ドイツ、スペイン、トルコ、米国、カナダなど 11 ヶ国がナショナルパビリオンを形成した。なお、韓国及び中国は、今回はナショナルパビリオンでの出展を取り止め、韓国は、Hyundai Heavy Industries (Engine & Machinery Division)、Hyundai Global Service、Hyundai Electric、Hyundai Power Systems の 4 社が「現代重工業グループ」として出展した。

コロナ禍が完全に収束していない中での開催ではあったものの、人出が多く混み合う時間帯もあり、COVID-19 規制緩和直後のイベントとしては盛況の様子であった。

Japan Digital Pavilionの様子



他国の様子

